

1 富山らしい魅力の創出

(1) 地域資源の発掘と観光資源のブラッシュアップ

事業名 (事業費)	実施状況	担当課
歴史と文化が薫るまちづくりモデル支援事業 (40,737千円)	<p>歴史的・文化的な地域資源を活用した地域づくりを推進するため、モデル地域で実施するまちづくり事業に対して支援し、観光振興や地域の活性化を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・八尾の魅力を活かした回遊性向上による観光まちづくり（富山市） ・砺波散居村の『風』を感じるまちづくり（砺波市） ・木曾義仲と巴・葵の伝説が息づくまちづくり（小矢部市） <p>ほか5件</p>	地域振興課
水辺のまちづくり推進事業 (4,157千円)	<p>「水の王国とやま」の豊かな水資源を活かした、水辺のまちづくりに取り組む市町村・市民活動を支援し、地域の新たな魅力の創出、観光振興、地域活性化を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・モデル地域への支援 <p>「水辺のまち夢プラン」に基づき官民協働で行う地域の特性を活かした水辺のまちづくりへの支援</p> <p>富岩運河橋脚等照明設備設置事業 岩瀬地区案内板設置事業 内川モニターツアー・旅行業者招聘事業</p>	地域振興課
富岩水上ライン利用促進事業 (10,142千円)	<p>新幹線開業をにらみ、県都富山の新たな魅力の創造と地域活性化のために実施する富岩水上ラインの利便性の向上やPRにより、その利用促進を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・チケット売場テントの設置 ・リーフレット・ポスター作成 ・乗り場誘導案内看板の設置 ・船底塗装費 など 	地域振興課
学習支援船の運航 (5,000千円)	<p>富岩運河の新たな水面利用である学習支援船（富岩水上ライン）の運航により、運河の歴史や水辺環境の学習を推進するとともに、運河の賑わい創出や活力ある地域づくりの促進を図った。</p>	地域振興課
ふるさと資源ブラッシュアップ事業 (800千円)	<p>地域の活性化を推進するため、地域の歴史、伝統、文化を踏まえた地域住民が主体の行事やイベント、歴史の伝承やまち並み整備、景観向上など地域が行うまちづくりの取組み等を支援し、県民全体の観光資源やまちづく</p>	地域振興課

	り活動に磨きあげ、観光振興、交流人口の拡大を図った。 ・実施地区 南砺市	
とやま未来遺産 の再生・発信事 業 (2,450 千円)	「とやま未来遺産」を活用した地域住民等による地域 活動を支援し、新たな地域の魅力を創造し、もって地域 全体の活性化を図った。 【活用した未来遺産】 ・近代を語り、未来をにやう路面電車王国とやま ・いたち川－四季の暮らしに生きる“どんどこ”の ある川	地域振興課
プロスポーツチ ーム地域活性化 事業 (4,499 千円)	プロスポーツチームの運営会社に取り組む地域活性 化に資する事業を支援し、官民一体による地域活性化及 び観光振興を図った。 ・補助実績 3 団体 ・主な事業内容 ホームゲームでの県民参加型イベントの実施 県外の試合会場での富山県特産品・観光 P R 商店街等におけるポスター、のぼり等の掲出 など	地域振興課
世界遺産登録推 進事業 (4,500 千円)	「立山・黒部」及び「近世高岡の文化遺産群」の世界 文化遺産登録に向け、民間団体が行う事業やイベントを 支援し、県民意識の醸成と観光振興を図った。 ・各種啓発活動やフォーラム、講演会、現地見学会の 開催等	地域振興課
観光地活性化モ デル事業 (3,000 千円)	宇奈月温泉地域の関係者で構成する「黒部市観光事業 活性化委員会」が実施する観光地活性化のためのモデル 的な取組みを支援し、宇奈月温泉を活用した滞在型観光 の推進を図った。 ・事業主体 黒部市観光事業活性化委員会 ・主な事業内容 わくわくいきものランドの開催 宇奈月温泉ギャップ調査の実施 大連市修学旅行受入事業 など	観光課
富山県観光バリ ューアップ事業 (798 千円)	北陸新幹線開業を見据え、魚津市、氷見市の 2 箇所を、 今後の富山県の観光の核となる将来性の高い観光地（バ リューアップ地区）として指定し、市と一体となって 「食」を中心とした観光地づくりを推進した。 ・事業実施地区選定のための調査 ・漁業関係者と飲食業者との意見交換会の開催	観光課

<p>観光地区開発事業費 (2,439 千円)</p>	<p>世界文化遺産に指定されており、本県の貴重な観光資源である五箇山地区の合掌造り家屋の茅屋根葺き替え等に係る経費の一部を助成し、合掌造りの建物の保全・整備を図った。</p> <p>・補助件数 3 件</p>	<p>観光課</p>
<p>県内スポーツチームと連携した観光PR事業 (273 千円)</p>	<p>プロスポーツチーム（富山グラウジーズ）と連携し、選手のユニフォーム等に県の観光キャッチフレーズやシンボルマークを表示してもらうことにより、対外試合等を通じた観光PRを図った。</p>	<p>観光課</p>
<p>プロスポーツ連携観光キャンペーン事業 (886 千円)</p>	<p>県内プロスポーツチームの県外での試合会場等において、観光キャンペーンや特産品の紹介等を実施し、観光PRを図った。</p> <p>・「カタールレ富山」対「水戸ホーリホック戦」（水戸市）ほか4試合</p>	<p>観光課</p>
<p>内山邸文化の魅力再生事業 (19,661 千円)</p>	<p>平成 10 年に国登録有形文化財に登録された内山邸において、保存修繕を行うとともに、利用促進のための魅力発信事業を実施した。</p> <p>・夜観桜の会、観月の会、文学展の開催</p>	<p>文化振興課</p>
<p>地域文化力向上・活性化支援事業 (4,975 千円)</p>	<p>県内団体が取り組む特色ある文化事業を支援し、地域の文化力の向上や文化を活かした地域活性化を図った。</p> <p>・補助件数 8 件</p>	<p>文化振興課</p>
<p>立山博物館管理運営費 (222,580 千円)</p>	<p>立山の雄大な自然とそれにはぐくまれた立山信仰などの歴史や文化を紹介する立山博物館において、常設展や企画展（2回）の開催等により、観光客を含め、立山の魅力を県内外に発信した。</p> <p>また、布橋灌頂会の開催場所となる布橋の老朽箇所の補修を実施した。</p>	<p>文化振興課</p>
<p>近代美術館管理運営費 (205,617 千円)</p>	<p>20 世紀初頭から現在にいたる美術の流れを、世界・日本・富山の 3 つの視点から展望する近代美術館において、常設展や企画展（6回）の開催等により、観光客を含め、多彩な美術の魅力を県内外に発信した。</p> <p>また、開館 30 周年（平成 23 年）記念事業として展示室をリニューアルするとともに映像アーカイブシステムの機器を整備し、美術館機能の向上を図った。</p>	<p>文化振興課</p>

<p>水墨美術館管理運営費 (127,946 千円)</p>	<p>水墨画など特色のある日本文化の美を広く紹介する水墨美術館において、常設展や企画展（7回）の開催等により、観光客を含め、多彩な美術の魅力を県内外に発信した。</p>	<p>文化振興課</p>
<p>富山県ふるさと文学館（仮称）建設準備事業 (37,128 千円)</p>	<p>県民のみならず県外からの観光客も含め、富山ゆかりの作家や作品の魅力を分かりやすく紹介する「富山県ふるさと文学館(仮称)」の建築及び展示の基本設計・実施設計を実施した。</p>	<p>文化振興課</p>
<p>うるおいある景観づくり推進事業費 (8,285 千円)</p>	<p>県、市町村、県民、事業者の連携と協力により、観光振興にもつながる優れた景観づくりのための施策を推進し、地域の特性を活かした優れた景観の保全及び創造を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・景観づくり支援事業の実施 景観アドバイザーの派遣 等 ・美しいまち並みづくりシンポジウム 2010 の開催 ・うるおい環境とやま賞の表彰 など 	<p>建築住宅課</p>
<p>水博物館構想事業 (7,607 千円)</p>	<p>新川地域に存在する黒部川等の豊かな自然資源を多くの人たちを魅了する展示物として位置付け、フィールドミュージアム活動を推進した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・主な事業内容 フィールドツアー、フィールドミュージアム資源の調査研究及び資料収集活動 など 	<p>県民生活課</p>
<p>立山カルデラ砂防博物館管理運営費 (125,224 千円)</p>	<p>立山カルデラの自然・歴史や、100 余年にわたり続けられている日本屈指の砂防事業について広く紹介する立山カルデラ砂防博物館において、年間を通じて常設展や企画展等を実施した。</p> <p>また、博物館の野外ゾーンである立山カルデラを実際に訪れて、立山カルデラの自然、歴史、砂防事業について深く理解できる体験学習会（4 種類のコースで 29 回、1,015 人参加）を実施し、県内外の参加者に P R を行った。</p>	<p>砂防課</p>
<p>「木曾義仲出世街道」再発見・再発信事業 (6,246 千円)</p>	<p>越中富山を舞台として活躍した「義仲と巴」のゆかりの史跡や伝承の発掘などにより、「義仲と巴」を活用した観光振興を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「まんがでわかる義仲・巴と越中武士団」の制作 ・雑誌や T V 番組とタイアップした P R の推進 	<p>知事政策局</p>

	<ul style="list-style-type: none"> ・倶利伽羅など、県西部の史跡を巡る史跡探訪バスツアーの実施 	
海王丸保存活用事業 (62,335 千円)	<p>文化的価値の高い帆船海王丸を永く保存し、海王丸パークで公開するとともに、総帆展帆や海洋教室、カッター・セイリング教室などにより、海、船、港への関心を高め、観光振興につなげた。</p>	港湾課
松川べり水辺のまちづくり事業 (8,362 千円)	<p>平成 24 年度開館予定の「富山県ふるさと文学館」（仮称）の整備にあわせて、松川べり遊歩道を文学館と城址公園（郷土博物館、佐藤記念美術館）など富山の歴史と文化の集積する地域にふさわしい遊歩道として整備するための詳細設計を実施した。</p>	河川課
とやまの「みち観光」創出事業 (100 千円)	<p>道路から美しい景色が見える場所（ビューポイント）を「パノラマ富山発見ルート」としてつなぎ、「みち観光」の振興を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・パンフレットを作成し、県内の道の駅やサービスエリアで配布 	道路課

(2) 食のブランド化と高付加価値化

事業名 (事業費)	実施状況	担当課
<p>「とやま食の匠」の認定・普及 (768千円)</p>	<p>富山県の特産品、伝統的な郷土料理や県産食材を活かした創作料理について、卓越した知識や技能を有し、普及活動を積極的に行える個人や団体を「とやま食の匠」として認定し、技能等の普及や「食のとやまブランド」の人材育成を図るとともに、とやまの食の魅力を県内外に発信した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・10個人・団体を新規認定 ・講師として派遣及びパンフレット等を作成 <p>派遣回数 42回</p>	農産食品課
<p>「とやま食の街道」づくり事業 (1,640千円)</p>	<p>「富山ならではの」の食材や独自の食文化の魅力を深く体験できるスポット（飲食店、販売店、加工施設、史跡など）を巡る周遊ルートを「とやま食の街道」として全国に発信し、各街道の施設において、歴史・文化、料理等の説話を語っていただける方を「食の語り部」として認定するとともに、その自主的な取り組みを支援した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・8施設、8名を新規認定 (全体で118施設、117名) ・「食の語り部」が自主的に行う取り組みへ支援 1団体 	農産食品課
<p>「越中とやま食の王国フェスタ」(秋の陣・冬の陣)の開催 (10,000千円)</p>	<p>「越中とやま食の王国フェスタ」(秋の陣・冬の陣)を開催し、富山の食の魅力を県内外にアピールした。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・秋の陣 日時 平成22年10月30日～31日 場所 富山産業展示館 ・冬の陣 日時 平成23年2月19日 場所 第一イン新湊、新湊漁港セリ場内、放生津公民館 	農産食品課
<p>ふるさと認証食品(Eマーク)制度の普及 (765千円)</p>	<p>県内で生産される良質な農林水産加工食品について、基準を満たした食品に認証マーク(通称:Eマーク)を付けることにより、県産特産品のイメージアップを図り、「とやまの特産品」として全国に情報発信した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・31商品を認定(全体で288商品) 	農産食品課

<p>特産品アドバイザーの派遣 (516 千円)</p>	<p>市町村等が取り組む特産品の開発や振興等に対して、「富山県特産品アドバイザー」を派遣し、専門家による指導・助言を行い、富山の特産品づくりを総合的にサポートした。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・派遣回数 11 回 	<p>農産食品課</p>
<p>地産地消県民交流フェア (3,199 千円)</p>	<p>“県民ぐるみで県産品を大きく育てる地産地消運動”を展開するため、地産地消県民交流フェアを開催し、県産品の良さを再発見し、広くアピールした。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農産物直売&地域資源等新商品展示 ・とやま地産地消シンポジウム 	<p>農産食品課</p>
<p>「うまさ一番富山のさかな」キャンペーン事業 (28,413 千円)</p>	<p>県産水産物の魅力の周知及び消費拡大のためのPR活動を展開し、県産水産物が県内外の消費者から高い評価を得る「第一級の魚ブランド」としての地位の確立を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・シンボルマークの作成 ・キャンペーン協力店の募集 ・キャンペーンサイト、ブログの開設 ・パンフレット、のぼり等の作成 	<p>水産漁港課</p>
<p>「我が浜のさかな」ブランド化事業 (2,000 千円)</p>	<p>各漁協が推進する「漁協発ブランド魚」の地域内外への周知や消費拡大を図るためのPR及び販路開拓を支援し、ブランド化を推進した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・補助件数 4 件 	<p>水産漁港課</p>
<p>「富山のさかなキトキトフェア」実施事業 (7,500 千円)</p>	<p>首都圏において「富山のさかなキトキトフェア」を開催し、富山県の水産物の魅力をPRするとともに本県の観光・物産等の魅力もPRし、本県の食の魅力の認知度向上及び首都圏からの誘客促進を図った。</p> <p>日時：平成 23 年 1 月 19 日 場所：ザ・キャピトルホテル東急（東京） 内容：富山のさかなを使った料理の提供、富山のさかなの魅力紹介、観光の紹介など</p>	<p>水産漁港課</p>
<p>「越中料理」推進事業 (5,569 千円)</p>	<p>新鮮で多彩な食材や豊かな食文化を活かした富山ならではの「越中料理」の魅力を県内外に発信することにより、観光振興、交流人口の拡大を図った。</p> <p>【県外に向けた情報発信】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・東京都内の料理教室受講生を対象とした越中料理レッスン講座の開催 	<p>地域振興課</p>

	<ul style="list-style-type: none"> ・有名シェフ（道場六三郎氏）がつくる越中料理の発表会、試食会の開催 <p>【県内に向けた情報発信】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スーパーマーケットとタイアップした「越中料理」の紹介 ・富山の食材を使った「越中料理弁当」のPR 	
<p>「富山県推奨とやまブランド」推進事業 (17,699 千円)</p>	<p>「富山県推奨とやまブランド」を認定し、県内外にその魅力を発信することにより、県産品の地名度の向上や本県のイメージアップを図った。</p> <p>また、ブランド認定をめざす事業者を支援するために、「明日のとやまブランド」育成支援事業を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・富山県推奨とやまブランド 11 品目（48 事業者）認定 ・「明日のとやまブランド」育成支援事業 ブランド関係の専門家から必要な助言、指導を受けるための所要経費の補助と専門家とのマッチング支援 6 品目（7 事業者）選定 	地域振興課
<p>とやまブランド全国発信支援事業 (1,000 千円)</p>	<p>業界の枠を超えた複数の業種等で構成された民間グループが実施する、商品等の認知度向上及び富山の地域イメージ確立を図るイベントの開催を支援し、とやまブランドの全国ブランド化を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・富山の酒とかまぼこフェア 日時 平成 22 年 11 月 3 日 場所 東京交通会館 	地域振興課
<p>観光圏推進事業 (1,287 千円)</p>	<p>「富山湾・黒部峡谷・越中にいかわ観光圏」が行う県内外に新川地区の食の魅力をアピールするイベントの開催を支援し、周遊・滞在型観光の推進を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「越中にいかわ食のお宝発見フェア in 朝日町」への支援（平成 22 年 10 月 10 日 朝日町） 	観光課

(3) 個人観光客の多様なニーズに合わせた観光商品の開発

事業名 (事業費)	実施状況	担当課
とやま滞在・体験型観光モデル事業 (1,070 千円)	<p>「富山ならではの」の富山県内発着の滞在型・体験型旅行商品の企画・販売を行うモデル的な取組みを支援し、観光を切り口とした地域づくりや観光地の集客力の向上を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・補助件数 3 件 	観光課
修学旅行等誘致促進事業 (3,820 千円)	<p>県内の修学旅行等の受入体制（宿泊施設・体験施設）を整理するとともに、教育旅行のモデルルート等を構築し、他県の旅行エージェント・教育委員会等へのPRを実施するなど、修学旅行等の誘致促進を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・修学旅行受入状況等の調査 ・中京地区、関西地区の旅行会社への出向宣伝 ・東海北陸中学校校長会に修学旅行資料配布 ・出向宣伝用パンフレット原稿作成 など 	観光課
産業観光魅力創出促進事業 (1,959 千円)	<p>産業観光に取り組む県内企業の受入体制整備を促進し、産業観光の魅力アップを図るため、県内企業が行う産業観光受入体制整備に対する所要経費の一部を助成した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・補助件数 6 件 	観光課
富山型ハイクオリティ滞在推進モデル事業 (2,021 千円)	<p>ハイクオリティ（高級志向）の観光客を対象とした富山ならではの高品質の旅を提供する旅行商品の開発や、高級志向客の趣向に合わせた施設のリニューアルを支援し、ハイクオリティ（高級志向）の観光客をターゲットとした受入環境の整備・充実を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・補助件数 4 件 	観光課
県産品に関する指導情報提供事業 (5,000 千円)	<p>特産品の情報収集及び紹介、新商品の開発、物産展等の企画運営を実施し、本県の特産品のPRを図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・物産センター及び県内各種催事会場における展示・紹介・販売 ・県内外の物産展における出展（21 件） ・新商品に対するアドバイス など 	観光課

<p>富山県特産品情報収集事業 (3,000 千円)</p>	<p>県内の特産品、農産品等の情報を収集・整理するとともに、富山県商品のブランドを進めるために、インターネットを活用した情報発信や物産展の企画運営などを実施した。</p>	<p>観光課</p>
<p>越中富山お土産プロジェクト事業 (18,476 千円)</p>	<p>デザインを切り口として統一感を持たせた富山らしい魅力あるお土産商品群づくりを行う「越中富山お土産プロジェクト」のテスト販売、商品化を実施した。 ・商品発表イベント（H23.2 東京丸ビル） ・ブランド名「越中富山 幸のこわけ」 ・商品数 17 企業 18 商品</p>	<p>商工企画課</p>
<p>世界的舞台芸術拠点づくり推進費 (73,000 千円)</p>	<p>「舞台芸術特区 TOGA」における世界的な舞台芸術拠点づくりの推進により、質の高い芸術文化を創造・発信するとともに、交流人口の拡大を図った。 ・世界演劇祭「シアター・オリンピックス利賀 2010」の開催 ・国際的な舞台芸術人材育成、青少年への普及・教育</p>	<p>文化振興課</p>
<p>とやま新事業創造基金 地域資源ファンド事業 (46,219 千円)</p>	<p>中小企業者が取組む、富山ならではの地域資源（産地の技術、農林水産物、観光資源）を活用した新商品開発・販路開拓等に対して、資金の支援を実施し、魅力ある特産品の開発・普及を図った。 ・実施件数 12 件</p>	<p>経営支援課</p>
<p>とやま新事業創造基金 農商工連携ファンド事業 (40,513 千円)</p>	<p>中小企業者と農林漁業者とが連携して行う新商品開発・販路開拓等に対して、資金の支援を実施し、魅力ある特産品の開発・普及を図った。 ・実施件数 9 件</p>	<p>経営支援課</p>
<p>農商工等連携支援事業（とやまのさちフェア開催事業） (818 千円)</p>	<p>地域資源活用や農商工連携による新商品等の展示・試食会等を開催し、本県の新たな特産品の普及を図った。 ・実施回数 4 回</p>	<p>経営支援課</p>

<p>都市との交流地域ネットワーク連携事業（グリーン・ツーリズムモデル商品化の促進） (1,350 千円)</p>	<p>地元の旅行業者や観光協会との連携のもとに、体験型、交流型のモデルツアーを開催し、都市との交流人口の拡大や観光の振興を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「農ある暮らし体験モデルツアー」 (富山市八尾町) 平成 22 年 8 月 28 日～29 日 ・「里山の恵みと旬の味覚体験モデルツアー」 (氷見市周辺) 平成 22 年 11 月 22 日～23 日 平成 22 年 12 月 5 日～6 日 平成 23 年 1 月 9 日～10 日 	<p>農村振興課</p>
<p>とやま帰農塾推進事業 (4,765 千円)</p>	<p>「豊かな自然に囲まれた田舎暮らし」に興味や憧れを持つ都市住民を、自然に恵まれた本県の農山漁村に受講生として迎え、講座として農林業や伝統文化体験を盛り込んだ滞在型グリーン・ツーリズム「とやま帰農塾」を開講し、都市と農村との交流人口の拡大、観光の振興を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・とやま帰農塾の開講（5 市町 7 ヶ所 全 10 講座） ・三大都市圏等への P R 	<p>農村振興課</p>
<p>とやま夏期大学の開催 (4,000 千円)</p>	<p>富山県の雄大で美しい自然の中で、質の高い学びと楽しみの場を提供する「とやま夏期大学」を開催し、自然、歴史文化、食など本県の様々な魅力を知るきっかけとして、今後の観光振興や交流人口の拡大を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開催期間 平成 22 年 7 月 23 日～26 日 ・開催地 立山国際ホテル 	<p>地域振興課</p>
<p>「富山県推奨とやまブランド」推進事業(再掲) (17,699 千円)</p>	<p>「富山県推奨とやまブランド」を認定し、県内外にその魅力を発信することにより、県産品の地名度の向上や本県のイメージアップを図った。</p> <p>また、ブランド認定をめざす事業者を支援するために、「明日のとやまブランド」育成支援事業を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・富山県推奨とやまブランド 11 品目（48 事業者）認定 ・「明日のとやまブランド」育成支援事業 ブランド関係の専門家から必要な助言、指導を受けるための所要経費の補助と専門家とのマッチング支援 6 品目（7 事業者）選定 	<p>地域振興課</p>

(4) 県内周遊の促進、近隣県を含む広域ルートの開発

事業名 (事業費)	実施状況	担当課
富山・岐阜観光と物産フェアの開催 (2,300 千円)	<p>岐阜県と連携して「富山・岐阜観光と物産フェア」を開催するとともに、アンテナショップ情報館において、越中・飛騨観光圏域内の周遊・滞在型観光ルートを紹介し、広域観光の振興を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開催期間 平成 22 年 10 月 23 日～24 日 ・開催場所 東京有楽町イトシア前広場 東京交通会館 1 階イベント広場 	観光課
富山県・岐阜県連携広域観光事業 (1,413 千円)	<p>岐阜県と連携した共同観光キャンペーン及び共同広告を実施し、東海北陸自動車道等を活用した広域観光の促進を図った。</p> <p>観光キャンペーン</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開催期間 平成 22 年 7 月 17 日～19 日 ・開催場所 オアシスパーク（岐阜県各務ヶ原市） 	観光課
観光圏推進事業 (再掲) (1,287 千円)	<p>「富山湾・黒部峡谷・越中にいかわ観光圏」が行う県内外に新川地区の食の魅力をアピールするイベントの開催を支援し、周遊・滞在型観光の推進を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「越中にいかわ食のお宝発見フェア in 朝日町」への支援（平成 22 年 10 月 10 日 朝日町） 	観光課
「親子で触れ合い ぶり・ノーベル街道再発見ウォーク」負担金 (1,000 千円)	<p>ノーベル賞受賞者ゆかりの地をむすぶ国道 41 号の沿線をウォークし、各地域の魅力を発見してもらう「ノーベル街道体験ウォークツアー 2010」を支援し、ぶり・ノーベル街道観光の振興を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成 22 年 7 月 10 日（富山市中心市街地） ・平成 22 年 10 月 3 日（富山市笹津地区） ・平成 22 年 10 月 17 日（飛騨市神岡地区） 	観光課
北陸三県広域連携観光推進協議会負担金 (2,000 千円)	<p>北陸三県が広域的に連携して各種事業を展開し、北陸地域における広域観光の推進を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・JR 中央線での車体広告の実施 掲出期間 平成 22 年 12 月 20 日 ～平成 23 年 1 月 16 日 掲出列車数 1 編成（10 両） ・旅行雑誌「じゃらん」への広告掲載 など 	観光課

<p>北陸三県誘客促進連携協議会負担金 (3,000 千円)</p>	<p>北陸新幹線の開業を見据え、北陸三県及び J R と連携して北陸観光キャンペーン事業を展開し、北陸地域における広域観光の推進を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ J R 3 社キャンペーンの実施 ・ 観光素材説明会の開催 ・ 観光情報誌「北陸物語」など 	<p>観光課</p>
<p>北陸広域観光推進協議会負担金 (2,500 千円)</p>	<p>北陸地域への観光誘客の増大を図るため、北陸三県と各県の商工関係団体、観光連盟からなる協議会を組織し、連携を図りながら、観光キャンペーン及び観光情報の発信を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 北陸地区の観光パンフレット・マップの作成 ・ 北陸三県観光連盟との共同宣伝事業 など 	<p>観光課</p>
<p>中部広域観光推進協議会負担金 (3,000 千円)</p>	<p>中部 9 県の地方公共団体、観光団体、企業等が連携して中部の広域観光の調査研究、P R 等を行うことにより、中部地域における広域観光の推進を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 旅フェア 2 0 1 0 への出展 ・ 観光セミナーの開催 ・ 国際観光振興事業の展開 など 	<p>観光課</p>
<p>飛越能経済産業観光都市懇談会負担金 (100 千円)</p>	<p>飛騨、富山県西部及び能登地域の県、市町村、経済団体等が連携して地域の観光資源を有効活用し、広域観光の推進を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 中京圏での広告宣伝 ・ 飛越能ロードマップ作成 など 	<p>観光課</p>
<p>立山黒部観光宣伝協議会負担金 (2,500 千円)</p>	<p>富山県と長野県の関係地方公共団体、交通・観光事業者、観光団体等が連携して立山黒部アルペンルートを中心とした観光宣伝を推進することにより、誘客促進及び広域観光の推進を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ パンフレット作成 ・ 三大都市圏における P R 等の宣伝活動 など 	<p>観光課</p>
<p>立山アルペンルート除雪事業 (25,000 千円)</p>	<p>本県の代表的観光地であり、長野県との広域観光にも大きな役割を果たす立山アルペンルートの早期全線開通を図るため、立山ルート除雪組合が実施する除雪事業及び大型除雪車 1 台の新規購入に対して助成した。</p>	<p>観光課</p>

富山空港利用促進事業 (3,925 千円)	富山空港を利用して来県する団体旅行者の国内移動のためのバスを運行する県内バス会社に対して助成し、富山空港を利用した広域観光の推進を図った。 ・補助件数 国際線 74 件 (82 台)	総合交通政策室
--------------------------	--	---------

(5) 冬季の魅力創出と通年観光

事業名 (事業費)	実施状況	担当課
<p>「うまさ一番 富山のさかな」 キャンペーン事業 (再掲) (28,413 千円)</p>	<p>県産水産物の魅力の周知及び消費拡大のためのPR活動を展開し、県産水産物が県内外の消費者から高い評価を得る「第一級の魚ブランド」としての地位の確立とともに食による通年観光の推進を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・シンボルマークの作成 ・キャンペーン協力店の募集 ・キャンペーンサイト、ブログの開設 ・パンフレット、のぼり等の作成 	<p>水産漁港課</p>
<p>「越中料理」推進事業 (再掲) (5,569 千円)</p>	<p>新鮮で多彩な食材や豊かな食文化を活かした富山ならではの「越中料理」の魅力を県内外に発信することにより、食による通年観光の推進を図った。</p> <p>【県外に向けた情報発信】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・東京都内の料理教室受講生を対象とした越中料理レッスン講座の開催 ・有名シェフ（道場六三郎氏）がつくる越中料理の発表会、試食会の開催 <p>【県内に向けた情報発信】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スーパーマーケットとタイアップした「越中料理」の紹介 ・富山の食材を使った「越中料理弁当」のPR 	<p>地域振興課</p>
<p>「越中とやま食の王国フェスタ」(秋の陣・冬の陣)の開催 (再掲) (10,000 円)</p>	<p>「越中とやま食の王国フェスタ」(秋の陣・冬の陣)を開催し、富山の食の魅力を県内外にアピールし、食による通年観光の推進を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・秋の陣 日時 平成 22 年 10 月 30 日～31 日 場所 富山産業展示館 ・冬の陣 日時 平成 23 年 2 月 19 日 場所 第一イン新湊、新湊漁港セリ場内、放生津公民館 	<p>農産食品課</p>

2 戦略的なPR

(1) 大都市圏等に向けた戦略的な情報発信

事業名 (事業費)	実施状況	担当課
戦略的広告活用・PR事業 (21,500千円)	<p>大都市圏での効果的な媒体を活用したPR展開により、「富山県」の知名度や魅力の認知度向上とともに、本県への誘客促進を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・首都圏での大規模広告の実施 使用媒体 JR山手線車体広告の掲出 掲出期間 平成22年6月14日～7月11日 掲出車両数 2編成(1編成=11車両) ・中京圏での大規模広告の実施 使用媒体 スカイメディア(吹き抜け巨大広告)の掲出(JR名古屋駅) 掲出期間 平成22年7月12日～8月1日 	観光課
「いきいき富山館」管理運営事業 (77,836千円)	<p>東京アンテナショップ「いきいき富山館」の催事コーナー(物産館)及び展示コーナー(情報館)で企画展や観光・物産キャンペーン等を開催して、本県の物産・観光の魅力を首都圏に情報発信した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各種特産品フェア、実演・試食販売 ・観光展、落語会、写真展 など 	観光課
富山県の物産と観光展の開催 (30,600千円)	<p>大都市圏において、「富山県の物産と観光展」を開催し、本県の物産と観光地の魅力を発信した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・東京(平成23年2月10日～16日) 東急百貨店吉祥寺店 ・名古屋(平成23年1月27日～2月1日) 名古屋丸栄 	観光課
北海道における富山県の物産と観光の紹介事業 (3,000千円)	<p>北海道富山会館において、本県の物産の展示、紹介及び観光宣伝等を実施し、本県への誘客や特産品販売の拡大を図った。</p>	観光課
羽田空港フューチャービジョン等観光PR事業 (1,995千円)	<p>羽田空港及び有楽町の映像広告媒体を活用して、富山県内のイベントや観光地を紹介する映像を放映し、首都圏での本県の認知度向上、イメージアップ及び誘客促進を図った。</p>	広報課

	<ul style="list-style-type: none"> ・羽田空港フューチャービジョン 月替わりで12タイトルを放送 ・有楽町ビックマルチビジョン 1ヶ月間（8月）集中して放送（おわら風の盆） 	
「富山のさかな キトキトフェア」実施事業 （再掲） （7,500 千円）	首都圏において「富山のさかなキトキトフェア」を開催し、富山県の水産物の魅力をPRするとともに本県の観光・物産等の魅力もPRし、本県の食の魅力の認知度向上及び首都圏からの誘客促進を図った。 日時：平成23年1月19日 場所：ザ・キャピトルホテル東急（東京） 内容：富山のさかなを使った料理の提供、富山のさかなの魅力紹介、観光の紹介など	水産漁港課

(2) 多様な個人客に向けた的確な情報発信

事業名 (事業費)	実施状況	担当課
観光パンフレット等作成 (5,985千円)	県内の主要な観光資源と地図情報をあわせて紹介する「富山観光マップ」を作成し、本県の魅力を発信し、観光誘客の促進を図った。	観光課
「パノラマ・キトキト富山」新聞発行事業費 (3,500千円)	首都圏を中心に発行する「パノラマ・キトキト富山」新聞(22年4月発行)の制作を支援し、首都圏等からの観光誘客の促進や本県のイメージアップを図った。 ・発行部数 135万部 ・発行地域 首都圏、富山県、石川県	観光課
ファミリー向け観光レジャーガイド作成事業 (651千円)	県内の自然・文化・体験施設など、ファミリーが気軽に楽しむことができる施設を紹介した「とやまレジャーガイド」を作成し、県内外のファミリー層の観光誘客の促進を図った。	観光課
地旅推進事業 (1,623千円)	地元ならではのアイデアを活かした、「また来たい」と思えるような着地型旅行商品メニューを集約・充実してパンフレットを作成し、観光誘客の促進を図った。	観光課
観光客動態調査事業 (4,337千円)	個人客向けに対象や目的を絞った情報発信を行うために必要となる観光入込客数統計の基礎データとして、観光客の平均訪問地点数及び観光消費額単価等を把握する「観光地点パラメータ調査」を実施した。 ・調査期間 四半期ごとに1日(年間合計4回) ・調査地点 県内主要観光地10地点 ・調査方法 観光客に対する面接調査	観光課
とやま観光画像データ発信事業 (6,689千円)	富山県内の魅力ある自然、食、祭り等を取材し、情報収集及び県内外へ発信していくことにより、「富山県」の知名度や魅力の認知度の向上を図った。	観光課
観光ホームページ等更新事業 (1,000千円)	富山県観光ホームページ「とやま観光ナビ」の内容の充実等により、富山県の魅力を全世界にPRし、観光誘客の促進を図った。 ・既存ページの修正・情報追加 ・新規ページ、バナー等の作成 など	観光課

<p>富山県観光誘客促進事業（ホテルイカ展示） （1,435 千円）</p>	<p>本県の重要な観光資源の1つであるホテルイカを多くの観光客等が利用する富山空港ターミナルビル内で展示・PRを実施し、観光誘客の促進を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・展示期間 平成22年4月17日～5月9日 	<p>観光課</p>
<p>観光キャンペーン負担金、観光事業振興補助金 （31,500 千円）</p>	<p>（社）富山県観光連盟が実施する誘致宣伝・普及活動や観光振興の事業等への負担金及び補助金の交付。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一般消費者向け観光PR事業 （新聞、雑誌、ラジオ等による情報発信 など） ・旅行代理店向け観光PR事業 （エージェント等への出向宣伝、観光説明会 など） ・観光PR資料作成事業 （各種観光情報誌の発行 など） <p>など</p>	<p>観光課</p>
<p>インフォメーション・ネットワーク・オブ・トヤマ（トヤマ・ジャスト・ナウ） （4,130 千円）</p>	<p>県内のイベントや観光、特産品等の旬の情報をホームページ「トヤマ・ジャスト・ナウ」に掲載するとともに更新情報をメールマガジンで配信し、富山の最新情報をタイムリーに発信することにより、本県への誘客促進等につなげた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・毎週水曜日に2つの記事をホームページ、メールマガジンで配信 ・7,400人に配信（平成23年3月現在） 	<p>広報課</p>

(3) メディアの活用・連携

事業名 (事業費)	実施状況	担当課
国内メディア招聘事業 (2,115千円)	<p>全国規模の新聞・テレビ・雑誌等の編集者等を招聘し、取材記事の掲載等を働きかけることにより、パブリシティを強化し、本県への誘客促進を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・TBSテレビ「はなまるマーケット」の富山県観光PRロケ など 	観光課
全国PR事業 (737千円)	<p>共同通信PRワイヤーを活用したリリース配信により、全国に向けて富山県内のイベントや首都圏で開催するイベントの情報等を発信し、本県の魅力やイベント等の認知度向上を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・配信本数 19本 	広報課
首都圏PR事業 (6,510千円)	<p>首都圏メディアへのリリース配信等により、本県の魅力やイベント等の認知度向上を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・首都圏メディアへのリリース原稿の作成、配信 ・リリース事項に関するプロモーション活動 ・首都圏メディアとのリレーション構築 	広報課
映画「ほしのふるまち」協賛事業 (5,000千円)	<p>富山県を舞台とした映画「ほしのふるまち」(23年3月公開)のPR媒体とタイアップし、広告協賛することで、全国に向けて富山県の魅力を発信した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・クレジット「特別協力 富山県」の表示 ・映画パンフレット等への知事メッセージ、県広告の掲載 ・東京での上映会における県PRアナウンス など 	広報課
県庁本館竣工75周年記念事業 (62千円)	<p>株式会社JTBパブリッシングを招聘して、富山県内の近代歴史遺産等の取材を支援し、「るるぶ富山立山黒部」(平成23年2月発行)に掲載することにより、本県の魅力を発信した。</p>	広報課

<p>「木曾義仲出世街道」再発見・再発信事業 (再掲) (6,246 千円)</p>	<p>本県のイメージアップと認知度の向上等を図るため、越中富山を舞台として活躍した「義仲と巴」をテーマとした大河ドラマの誘致活動を展開した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「義仲・巴ネットワークフォーラム in 富山」(平成22年10月24日)を開催し、大河ドラマ誘致への機運を醸成 ・NHK会長へドラマ化について要望 	<p>知事政策局</p>
<p>映画等誘致推進事業 (827 千円)</p>	<p>映画等を通じた本県の魅力発信を図るため、市町村単位のフィルムコミッション等と連携した県全体での映画等の撮影の誘致や受入体制の充実に向け、その方策等についての調査・検討を行った。</p>	<p>地域振興課</p>

(4) 官民一体、近隣県と連携したPRの推進

事業名 (事業費)	実施状況	担当課
富山・岐阜観光と物産フェアの開催(再掲) (2,300千円)	<p>岐阜県と連携して「富山・岐阜観光と物産フェア」を開催するとともに、アンテナショップ情報館において、越中・飛騨観光圏域内の周遊・滞在型観光をPRし、広域観光の振興を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開催期間 平成22年10月23日～24日 ・開催場所 東京有楽町イトシア前広場 東京交通会館1階イベント広場 	観光課
富山県・岐阜県連携広域観光事業(再掲) (1,413千円)	<p>岐阜県と連携した共同観光キャンペーン及び共同広告を実施し、東海北陸自動車道等を活用した広域観光の促進を図った。</p> <p>観光キャンペーン</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開催期間 平成22年7月17日～19日 ・開催場所 オアシスパーク(岐阜県各務ヶ原市) 	観光課
北陸三県広域連携観光推進協議会負担金(再掲) (2,000千円)	<p>北陸三県が広域的に連携して各種事業を展開し、北陸地域における広域観光の推進を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・JR中央線での車体広告の実施 掲出期間 平成22年12月20日 ～平成23年1月16日 掲出列車数 1編成(10両) ・旅行雑誌「じゃらん」への広告掲載 など 	観光課
北陸三県誘客促進連携協議会負担金(再掲) (3,000千円)	<p>北陸新幹線の開業を見据え、北陸三県及びJRと連携して北陸観光キャンペーン事業を展開し、北陸地域の広域観光の推進を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・JR3社キャンペーンの実施 ・観光素材説明会の開催 ・観光情報誌「北陸物語」など 	観光課
北陸広域観光推進協議会負担金(再掲) (2,500千円)	<p>北陸地域への観光誘客の増大を図るため、北陸三県と各県の商工関係団体、観光連盟からなる協議会を組織し、連携を図りながら、観光キャンペーン及び観光情報の発信を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・北陸地区の観光パンフレット・マップの作成 ・北陸三県観光連盟との共同宣伝事業 など 	観光課

<p>中部広域観光推進協議会負担金 (再掲) (3,000 千円)</p>	<p>中部 9 県の地方公共団体、観光団体、企業等が連携して中部の広域観光の調査研究、PR 等を行うことにより、中部地域における広域観光の推進を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・旅フェア 2010 への出展 ・観光セミナーの開催 ・国際観光振興事業の展開 など 	<p>観光課</p>
<p>飛越能経済産業観光都市懇談会負担金 (再掲) (100 千円)</p>	<p>飛騨、富山県西部及び能登地域の県、市町村、経済団体等が連携して地域の観光資源を有効活用し、広域観光の推進を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中京圏での広告宣伝 ・飛越能ロードマップ作成 など 	<p>観光課</p>
<p>立山黒部観光宣伝協議会負担金 (再掲) (2,500 千円)</p>	<p>富山県と長野県の関係地方公共団体、交通・観光事業者、観光団体等が連携して立山黒部アルペンルートを中心とした観光宣伝を推進することにより、誘客促進及び広域観光の推進を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・パンフレット作成 ・三大都市圏における PR 等の宣伝活動 など 	<p>観光課</p>
<p>日本観光協会中央情報センター負担金 (200 千円)</p>	<p>市町村からの情報提供等により観光情報の整備をするとともに、ホームページ「全国旅そうだん」による観光客等への情報提供を実施した。</p>	<p>観光課</p>
<p>「親子で触れ合い ぶり・ノーベル街道再発見ウォーク」負担金 (再掲) (1,000 千円)</p>	<p>ノーベル賞受賞者ゆかりの地をむすぶ国道 41 号の沿線をウォークし、各地域の魅力を発見してもらう「ノーベル街道体験ウォーク 2010」を支援し、ぶり・ノーベル街道観光の振興を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成 22 年 7 月 10 日 (富山市中心市街地) ・平成 22 年 10 月 3 日 (富山市笹津地区) ・平成 22 年 10 月 17 日 (飛騨市神岡地区) 	<p>観光課</p>
<p>観光 PR 県市町村タイアップ事業 (9,500 千円)</p>	<p>富山市など県内市町村と連携し、大規模広告等の効果的な観光 PR 等を実施し、広域観光の推進と「富山県」の知名度や魅力の認知度の向上を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・名古屋市営地下鉄(東山線・名城線)車内マルチ広告 掲出期間 平成 22 年 8 月 1 日～31 日 掲出車両数 各 1 編成 (1 編成 = 6 車両) ・JR 東海各駅でのポスター等掲出 掲出期間 平成 22 年 7 月 6 日～9 月 30 日 ・出向宣伝、観光キャンペーンの実施 など 	<p>観光課</p>

<p>富山県観光イベントサポート事業 (6,225 千円)</p>	<p>イベントサポートスタッフを富山県観光連盟で2名雇用し、ホームページ等により本県の観光資源を紹介するほか、県内外で開催されるイベント運営を支援した。</p>	<p>観光課</p>
<p>ディスカバー北陸プロジェクトへの参画 (850 千円)</p>	<p>北陸三県の行政、経済団体、新聞社が連携して、北陸エリアの地域力向上のために三県の魅力を「再発見」するとともに、県内外に発信し新しい「北陸のイメージ」の構築を目指す取組みを実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・北陸に共通する課題や将来の展望を探るシンポジウムの開催 ・小学生が北陸の自然や文化に触れながら交流する体験研修の実施 	<p>地域振興課</p>
<p>北陸イメージアップ推進会議負担金 (1,600 千円)</p>	<p>北陸経済連合会、北陸電力及び北陸三県で推進会議を構成し、北陸の魅力を地域内外に発信して、北陸のイメージアップを図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・観光事業者向けPRツール「北陸物語」及び「北陸広域観光モデルコース（改訂版）」の発行 ・ホームページ運営 など 	<p>地域振興課</p>

3 官民一体、県民こぞってのおもてなし環境の整備

(1) 地域の観光を支える人づくり

事業名 (事業費)	実施状況	担当課
観光アカデミー 事業 (245 千円)	観光振興の基盤となる観光関連産業の従事者や観光ボランティアガイドに対する研修を実施し、観光を担う人材の育成を図った。 ・観光ボランティアガイド研修会 (平成 22 年 7 月 30 日) ・観光アカデミー(物産編)(平成 22 年 11 月 11 日) ・おもてなし研修会(平成 23 年 1 月 18 日)	観光課
観光リーダー育成支援事業補助金 (560 千円)	観光関係団体の人材育成の取り組み及び外部評価の実施を支援し、地域の核となる観光リーダーの人材育成及び地域独自のおもてなしのスタイルの確立を図った。 ・補助件数 5 件	観光課
観光地域リニューアル支援事業補助金 (1,710 千円)	専門家による指導により、個性ある観光地域や観光施設をつくる取り組みを支援し、観光地域のリニューアルを図った。 ・補助件数 2 件	観光課
おもてなし力向上事業 (833 千円)	観光関係団体や観光ボランティアガイドグループ等が実施する研修や活動を支援し、おもてなし力の向上を図った。 ・補助件数 12 件	観光課
観光カレッジ調査検討事業 (1,500 千円)	北陸新幹線開業に向けて、次世代の観光を担う人材育成のための観光カレッジ(とやま観光未来創造塾)の設置に向けた調査検討を行った。	観光課
観光振興・地域活性化マネージャーの配置 (12,000 千円)	専門的な見地から観光振興事業等を検討・推進する観光振興・地域活性化マネージャーの黒部市への配置及び活動について支援し、宇奈月温泉を活用した観光振興及び地域活性化を推進した。	観光課

(2) 観光産業及び周辺産業の振興と連携

事業名 (事業費)	実施状況	担当課
歴史と文化が薫る商店街モデル事業 (1,661 千円)	地域に存在する歴史的・文化的資源を活用して行う商店街活性化事業を支援し、地域活性化と誘客促進を図った。 ・補助件数 3 件	商業まちづくり課
とやま起業未来塾事業 (16,669 千円)	「夢」「情熱」「志」を持った創業者、世界に羽ばたく企業人、地域づくりを担う人材を育成する「とやま起業未来塾」を開講し、産業の活性化による活力ある県づくりを進めることにより、誘客促進等につなげた。 ・受講者数 32 名	経営支援課
伝統的工芸品等販路開拓支援事業 (6,659 千円)	伝統的工芸品のPRや販路開拓を促進するため、新たに販売促進員を配置した。 ・委託先 (財)高岡地域地場産業センター、井波彫刻協同組合 (各1名配置)	経営支援課
とやまブランド伝統工芸人材育成事業 (80,941 千円)	県内伝統的工芸品産業の振興を図るとともに県内伝統的工芸品を国内外に誇れる「とやまブランド」に成長させる人材の育成を図るために、職人を志す就職希望者が働きながら技術を習得する機会を提供した。 ・実績 34 事業所で 42 名を雇用	経営支援課
伝統的工芸品販路開拓マイスター事業 (2,527 千円)	伝統的工芸品の新たな需要や販路を開拓するために、インテリア業界等に対して新商品開発や新しい活用方法を企画提案できる人材(マイスター)を配置した。 ・委託先 伝統工芸高岡銅器振興協同組合 富山県和紙協同組合 (各1名配置)	経営支援課
とやまの資源発掘ブラッシュアップ事業費補助金 (792 千円)	地域資源(産地の技術、農林水産品、観光資源)を活用し、新商品や新サービス開発などの事業展開に取り組もうとしている中小企業及び、農林水産業や商工業等の枠を超えた連携による効果的な取組みの掘り起こしや、地域資源を活用する取組みの事業化へ向けたサポートを実施した。 (補助先:財団法人富山県新世紀産業機構) ・発掘実績 17 件 ・ブラッシュアップ実績 4 社計 9 回	経営支援課

<p>農商工連携事業 ブラッシュアップ補助金 (263 千円)</p>	<p>農林水産業や商工業等の枠を超えた連携による効果的な取組みの事業化へ向けたサポートを実施した。 (補助先：財団法人富山県新世紀産業機構) ・ブラッシュアップ実績 3社計8回</p>	<p>経営支援課</p>
<p>旅館施設近代化 等促進事業 (7,843 千円)</p>	<p>宿泊施設が行う客室の増設やリニューアルなどの整備に対して融資（富山県商業サービス業活性化資金観光旅館施設整備枠融資制度）し、宿泊施設の誘客力の向上を図った。 ・融資件数 新規分 2件 継続分 3件</p>	<p>観光課</p>
<p>(社)日本観光協会負担金 (718 千円)</p>	<p>観光振興に関する中枢機関（ナショナルセンター）として、観光振興を図る各種事業を総合的に展開する(社)日本観光協会（全国の地方公共団体、観光協会、観光関係事業者等で構成）への負担金。</p>	<p>観光課</p>
<p>(財)とやま観光物産センターへの補助 (80,529 千円)</p>	<p>富山の観光情報や文化・特産品の発信拠点として富山の魅力を県内外に広くアピールする(財)とやま観光物産センターの運営費等への補助。</p>	<p>観光課</p>
<p>(社)富山県観光連盟運営費補助金 (8,658 千円)</p>	<p>富山県内における観光事業の健全な発展及び振興並びに地域の活性化に取り組む(社)富山県観光連盟の運営費への補助。</p>	<p>観光課</p>

(3) 県民の意識醸成

事業名 (事業費)	実施状況	担当課
ふるさと魅力発見PR事業 (5,000千円)	<p>富山の自然、歴史や文化などを学ぶ検定「越中富山ふるさとチャレンジ」の実施により、県民がふるさと富山の魅力を再発見し、誇りをもって全国にPRする意識の醸成を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・受験者数 1,104名 	地域振興課
富山ふるさとマスター派遣事業 (1,000千円)	<p>学校、企業、地域住民、市町村等が開催するふるさとに関する研修会等に、越中富山ふるさとチャレンジ上級合格者等（富山ふるさとマスター）を講師として派遣することなどにより、ふるさとへの誇りや愛着を育む気運の醸成を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・富山ふるさとマスター登録者数 10人 ・派遣回数 2回（4名） 	地域振興課
ハローとやま☆貼ろう事業 (1,119千円)	<p>富山県の観光ポスターを作成し、県内外の事業所や飲食店に掲示することにより、観光振興への地域の機運を醸成するとともに、観光客の誘致促進を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・作成部数 4,500部（6種類） 	観光課
飛越地域交流・連携推進活動支援事業 (724千円)	<p>飛越地域の交流と連携を推進し、この地域を「日本の心のふるさと」として守り育てていくための活動を支援し、地域への誇りや愛着を育む機運の醸成を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・補助件数 5件 	知事政策局
世界遺産登録推進事業（再掲） (4,500千円)	<p>「立山・黒部」及び「近世高岡の文化遺産群」の世界文化遺産登録に向け、民間団体が行う事業やイベントを支援し、地域への誇りや愛着を育む機運の醸成を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各種啓発活動やフォーラム、講演会、現地見学会の開催等 	地域振興課
歴史と文化が薫るまちづくりモデル支援事業 (40,737千円) (再掲)	<p>歴史的・文化的な地域資源を活用した地域づくりを推進するため、モデル地域で実施するまちづくり事業に対して支援し、地域への誇りや愛着を育む機運の醸成を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施地区 高岡市、魚津市、氷見市、黒部市、南砺市、富山市、砺波市、小矢部市 	地域振興課

<p>水辺のまちづくり推進事業 (再掲) (4,157 千円)</p>	<p>「水の王国とやま」の豊かな水資源を活かした、水辺のまちづくりに取り組む市町村・市民活動を支援し、地域の新たな魅力の創出、地域への誇りや愛着を育む機運の醸成を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・モデル地域への支援 <p>実施地区 富山市、射水市</p>	<p>地域振興課</p>
<p>ふるさと資源ブラッシュアップ事業 (再掲) (800 千円)</p>	<p>地域の活性化を推進するため、地域の歴史、伝統、文化を踏まえた地域住民が主体のまちづくりの取り組み等を支援し、県民全体の観光資源やまちづくり活動に磨きあげ、地域への誇りや愛着を育む機運の醸成を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実施地区 南砺市 	<p>地域振興課</p>
<p>とやま未来遺産の再生・発信事業 (再掲) (2,450 千円)</p>	<p>「とやま未来遺産」を活用した地域住民等による地域活動を支援し、新たな地域の魅力を創造し、地域への誇りや愛着を育む機運の醸成を図った。</p> <p>【活用した未来遺産】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・近代を語り、未来をにやう路面電車王国とやま ・いたち川－四季の暮らしに生きる “どんどこ”のある川 	<p>地域振興課</p>
<p>「とやま食の匠」の認定・普及 (再掲) (1,000 千円)</p>	<p>富山県の特産品、伝統的な郷土料理や県産食材を活かした創作料理について、卓越した知識や技能を有し、普及活動を積極的に行える個人や団体を「とやま食の匠」として認定し、学校、企業、地域住民、市町村等からの依頼に応じて講師として派遣することなどにより、卓越した知識や技能の普及とともに、富山の食の魅力の再発見、再認識を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・10 個人・団体を新規認定 ・派遣回数 42 回 	<p>農産食品課</p>
<p>富山県ふるさと文学館 (仮称) 建設準備事業 (再掲) (37,128 千円)</p>	<p>県民のみならず県外からの観光客も含め、富山ゆかりの作家や作品の魅力を分かりやすく紹介する「富山県ふるさと文学館(仮称)」の建築及び展示の基本設計・実施設計を実施した。</p>	<p>文化振興課</p>

(4) 受入環境の整備

事業名 (事業費)	実施状況	担当課
富山駅観光案内 所運営 (2,601千円)	本県の玄関口である富山駅の構内に富山県と富山市で共同の観光案内所を設置し、富山県全域の適切な観光案内や情報発信を行うことにより、観光客の利便性の向上を図った。	観光課
観光案内ステーション設置事業 (1,300千円)	本県を訪れた観光客が快適で楽しい旅行ができるように、県内のガソリンスタンド、ドライブイン、道の駅、ホテル・旅館等に各種観光パンフレットの提供等を行う観光紹介コーナー等を設置し、観光客の利便性の向上を図った。 ・設置件数 70件	観光課
富山型ハイクオリティ滞在推進モデル事業 (再掲) (2,021千円)	ハイクオリティ（高級志向）の観光客を対象とした富山ならではの高品質の旅を提供する旅行商品の開発や、高級志向客の趣向に合わせた施設のリニューアルを支援し、ハイクオリティ（高級志向）の観光客をターゲットとした受入環境の整備・充実を図った。 ・補助件数 4件	観光課
国際観光施設等魅力アップ支援事業 (1,221千円)	県内のホテル旅館をはじめとした観光施設が行う国内外からの観光客の受入体制を整備する事業（外国語ホームページの作成、トイレの整備など）を支援した。 ・補助件数 6件	観光課
観光地誘導案内デザイン統一化促進事業 (2,801千円)	観光客の誘致増大や利便性の確保を図るため、道の駅に広域観光案内標識を設置するとともに、市町村が行う観光地誘導案内標識の多言語表記化に対し支援した。 ・広域観案内標識 設置件数 1件 ・外国語観光サイン整備 補助件数 新規15件 改修1件	観光課
宇奈月国際会館運営費補助金 (19,500千円)	本県を代表する観光地の一つである宇奈月温泉にあるコンベンション施設「宇奈月国際会館」を運営する黒部市に、運営費の一部を助成した。	観光課

<p>富山空港コンシェルジュ配置事業 (7,513 千円)</p>	<p>富山空港の利用者に対し、案内・誘導や介助など懇切・丁寧なサービスを提供する「富山空港コンシェルジュ」を配置し、富山空港の利用促進を図るとともに、空港を利用する観光客の受入環境の整備・充実を図った。 ・配置人員 4人</p>	<p>総合交通政策室</p>
<p>イタイイタイ病資料館（仮称）整備事業 (34,802 千円)</p>	<p>イタイイタイ病に関する貴重な資料や教訓を後世に継承するとともに、新たな環境教育の場や修学旅行先としても活用できる「イタイイタイ病資料館」の施設改修と展示の基本設計及び実施設計を実施した。</p>	<p>健康課</p>
<p>富山県ふるさと文学館（仮称）建設準備事業（再掲） (37,128 千円)</p>	<p>県民のみならず県外からの観光客も含め、富山ゆかりの作家や作品の魅力を分かりやすく紹介する「富山県ふるさと文学館(仮称)」の建築及び展示の基本設計・実施設計を実施した。</p>	<p>文化振興課</p>
<p>自然公園等整備事業 (58,300 千円)</p>	<p>わが国を代表する山岳公園「中部山岳国立公園」の主要利用拠点である、アルペンルート沿線や黒部峡谷において、安全で快適な利用を推進するための施設整備を実施し、観光客の利便性の向上などを図った。 ・散策路整備、環境配慮型トイレ整備等</p>	<p>自然保護課</p>
<p>有峰森林文化村推進費 (56,263 千円)</p>	<p>豊かな森林を有し、多くの人々が訪れる風光明媚な有峰において、有峰森林文化村公園及び有峰ハウスの適切な管理運営を行い、利用者が安心して施設利用等ができるよう施設整備（保守点検）等に努めた。</p>	<p>森林政策課</p>
<p>県立都市公園の整備・改修 (428,834 千円)</p>	<p>県民のみならず県外からの観光客にも多く利用される憩いの場やスポーツ・レクリエーションの場である県立都市公園の整備・改修を実施し、利用者の利便性向上などを図った。 ・実施内容 富岩運河環水公園（西地区の整備、デッキ修繕等） 県民公園 太閤山ランド（遊具の整備 等） 総合運動公園（遊具の改修） 常願寺川公園（トイレの整備） 岩瀬スポーツ公園（トイレ、遊具の整備 等） 五福公園（遊具の整備 等）</p>	<p>都市計画課</p>

<p>県立都市公園の 維持管理 (1,131,427 千円)</p>	<p>県立都市公園の適正な維持管理に努め、利用者の安全と満足度の向上などを図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 県立都市公園 富岩運河環水公園、県民公園 太閤山ランド、総合運動公園、常願寺川公園、県民公園 新港の森、岩瀬スポーツ公園、五福公園、空港スポーツ緑地、県庁前公園 	<p>都市計画課 環境政策課</p>
--	--	------------------------

(5) 二次交通の確保・利便性向上

事業名 (事業費)	実施状況	担当課
富山らくらく交通ナビ事業 (2,865 千円)	インターネットなどによる公共交通の一元的な乗継情報システムにより、県外観光客でも気軽に電車、バス等を利用できるよう、公共交通機関による目的地までの経路、乗継、運行時刻などを分かりやすく案内する「富山らくらく交通ナビ」を運用し、観光客の利便性の向上を図った。	総合交通政策室
高速バス運行環境整備事業 (1,328 千円)	高速バスのバス停、バス停上屋、待合室等の施設整備を支援し、観光客の利便性の向上を図るとともに、施設やバス車内等で観光情報を掲示して利用者へのPRを実施した。 ・補助件数 1 件	総合交通政策室
乗りたくなる公共交通推進事業費 (291 千円)	交通事業者が実施するバスや軌道車両のイメージアップのための取組み（車両のラッピング など）を支援し、観光客の公共交通機関の利用促進を図った。 ・補助件数 2 件	総合交通政策室

4 国際観光の推進～ビジット・とやま・キャンペーンの展開

(1) 東アジアからのリピーター確保、通年の魅力発信

事業名 (事業費)	実施状況	担当課
上海アンテナショップの設置 (9,600 千円)	東アジア屈指の産業経済都市である上海市にアンテナショップを設置し、富山県の物産、観光の魅力を発信した。 ・設置場所 「GL-JAPAN PLAZA」内 (富裕層の多い新天地付近) ・業務内容 本県の特産品の展示、テスト販売、マーケットリサーチ、観光PR など	観光課
韓国における物産と観光展の開催 (2,770 千円)	岐阜県等と連携して、韓国で強いブランド力を持つ「新世界百貨店」(3店)において、特産品や観光地の魅力を紹介する観光物産展を開催し、知名度の向上と特産品の販路拡大を図った。 ・開催期間 平成22年10月8日～28日	観光課
富山県大連事務所拠点PR事業 (577 千円)	富山県大連事務所を活用した富山県海外観光PRコーナーの設置・管理及び観光関係情報の収集活動を実施し、本県の観光PRの恒常的な展開による観光客の誘致促進を図った。	観光課
香港雑誌広告掲載事業 (1,997 千円)	香港の雑誌2誌に富山県の観光地をPRする広告を掲載し、本県の知名度アップ及び観光客の誘致促進を図った。	観光課
上海便活性化旅行商品販売促進事業 (18,170 千円)	上海-富山便を利用する富山ツアーの送客に対して中国の旅行会社へ助成するとともに、上海-富山便を利用したモニターツアーを実施し、観光客の誘致促進を図った。 ・助成本数、対象人数 45本、1,808名 ・モニターツアー 1本	観光課
上海戦略的広告活用事業 (3,637 千円)	上海市等の新聞、旅行雑誌、旅行会社ホームページに富山県の観光地をPRする広告を掲載し、本県の知名度向上及び観光客の誘致促進を図った。 ・新聞広告 2社 ・雑誌広告 2社 ・インターネット広告 5社	観光課

<p>広東国際旅游展覧会（G I T E）への出展 (1,038 千円)</p>	<p>広東国際旅游展覧会（G I T E 2010）に出展し、本県の豊富な観光資源を広く紹介することにより、本県の知名度向上及び観光客の誘致促進を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開催期間 平成 22 年 9 月 25 日～28 日 ・開催場所 中国 広州市 	<p>観光課</p>
<p>東アジア国際観光博覧会（E A I T F）への出展 (1,033 千円)</p>	<p>東アジア国際観光博覧会（E A I T F）に出展し、本県の豊富な観光資源を広く紹介することにより、本県の知名度向上及び観光客の誘致促進を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開催期間 平成 22 年 10 月 15 日～17 日 ・開催場所 中国 大連市 	<p>観光課</p>
<p>韓国通年誘客 P R 事業 (2,000 千円)</p>	<p>韓国の主要な旅行雑誌 4 誌に、スキー、温泉等の多様な観光資源の記事と旅行商品を掲載し、韓国から年間を通じた観光客の誘致促進を図った。</p>	<p>観光課</p>
<p>韓国地下鉄ホームドア広告事業 (2,500 千円)</p>	<p>韓国ソウル市内の地下鉄駅構内のホームドアで本県の観光地を P R し、本県の知名度向上及び観光客の誘致促進を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・掲載期間 平成 22 年 4 月 6 日～5 月 5 日 	<p>観光課</p>
<p>ビジット・とやま・スタートアップ事業 (23,443 千円)</p>	<p>国際観光強化のスタートアップとして、中国及び台湾での連続的な屋外広告の掲出、観光説明会の実施、観光と物産展等のプロモーションを展開し、中国、台湾等からの観光客の誘致促進を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・上海国際博覧会「富山県の日」に併せた観光 P R コーナー設置（5 月 8 日、9 日） ・広東省観光説明会の開催（5 月 10 日） ・台湾観光説明会（5 月 11 日） ・台湾観光と物産展（5 月 10 日～16 日）の開催など 	<p>観光課</p>
<p>観光客誘致促進事業 (9,800 千円)</p>	<p>中国、韓国、台湾、香港、東南アジア及び欧米・ロシアを対象に観光宣伝事業や旅行会社等に対する招聘宣伝事業を行い、外国からの観光客の誘致促進を図った。</p>	<p>観光課</p>
<p>観光客誘致広告支援事業 (9,271 千円)</p>	<p>中国、韓国、台湾等の旅行業者等が企画・催行する富山県向け旅行商品の広告を支援し、外国からの観光客の誘致促進を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・補助件数 7 件 	<p>観光課</p>

<p>「富山ものづくり総合見本市ーとやまテクノフェア 2010・NEAR 2010ー」における富山県観光物産ブース出展事業 (443 千円)</p>	<p>北東アジア各国から多くの企業が参加する「富山ものづくり総合見本市ー富山テクノフェア 2010・NEAR 2010ー」において、富山県観光物産ブースを出展し、富山県の観光PRを行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 出展場所 富山市体育文化センター ・ 出展期間 平成 22 年 8 月 5 日～7 日 	<p>観光課</p>
<p>北陸国際観光テーマ地区推進富山協議会負担金 (2,800 千円)</p>	<p>現地における海外プロモーションや海外観光客受入等の各種施策を実施し、外国からの観光客の誘致促進を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 海外でのPRブースの設置 ・ 北陸国際観光テーマ地区推進協議会への負担 	<p>観光課</p>
<p>農林水産物海外市場開拓事業 (4,995 千円)</p>	<p>県産農林水産物の海外への輸出を促進するための各種施策を展開し、海外での県産農林水産物の普及促進を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 台湾における個別商談会の開催 ・ 中国食品バイヤーとの県内商談会の開催 ・ 上海への県産農林水産物トライアル輸出 など 	<p>農林水産企画課</p>
<p>大連事務所運営費 (17,757 千円)</p>	<p>富山県と中国との交流拡大を推進する大連事務所を拠点にし、観光振興のための各種取組みを展開し、中国からの観光客の誘致促進を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 上海国際博覧会「富山県の日」、上海アンテナショップオープニングへの協力 ・ 大連での東アジア国際観光博覧会EAITF2010への協力 ・ 旅行会社等との面談、情報収集・提供、PR、中国人修学旅行誘致への支援 等 ・ 現地旅行会社の富山支店設立への支援 など 	<p>国際・日本海政策課</p>
<p>上海国際博覧会行催事参加事業 (35,533 千円)</p>	<p>中国上海市で開催された上海国際博覧会での「富山県の日」において、富山県の自然、歴史・文化、産業、食の魅力等をまるごと体感できる映像やパフォーマンス、展示などにより、本県の魅力を強くアピールし、本県の知名度向上及び観光客の誘致促進を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ テーマ 「雪景、豊水」 ・ 開催日 平成 22 年 5 月 8 日、9 日 	<p>知事政策局</p>

	<ul style="list-style-type: none"> ・会 場 日本館イベントステージ ・入場者 約 14,000 人（2日間） 	
飛越地域 P R 事 業 (413 千円)	飛越地域に広がる豊かな自然をはじめ、祭りや伝承、 匠の技や食等の魅力の P R 活動を国の内外に向けて展 開し、飛越地域の知名度向上及び観光客の誘致促進を図 った。 <ul style="list-style-type: none"> ・ホームページの中国語化 ・エアタグの整備（110 件） 	知事政策局

(2) 新規市場に向けた効果的な情報発信

事業名 (事業者)	実施状況	担当課
タイ国際観光展 (T T A A 2011) (1,454 千円)	<p>タイ国際観光展 (T T A A 2011) に出展し、本県の豊富な観光資源を広く紹介することにより、本県の知名度向上及び観光客の誘致促進を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・開催期間 平成 23 年 2 月 25 日～28 日 ・開催場所 タイ バンコク市 	観光課
シンガポール新聞等広告事業 (1,000 千円)	<p>情報拠点であるシンガポールにおいて、現地旅行博 (N A T A S) の開催時 (平成 22 年 8 月及び平成 23 年 2 月) に発行される新聞に、本県観光地の P R 広告を掲載し、東南アジアからの観光客の誘致促進を図った。</p>	観光課
ロシア広域プロモーション事業 (1,561 千円)	<p>ロシア (極東地方) を対象に、現地での観光説明会や現地旅行会社等の招聘を実施し、ロシア (極東地方) からの観光客の誘致促進を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・旅行会社等招聘 <ul style="list-style-type: none"> 平成 22 年 7 月 16 日～22 日 (ウラジオストクの旅行会社 5 名) 平成 22 年 7 月 21 日～26 日 (ハバロフスクの旅行会社 5 名) ・現地プロモーション <ul style="list-style-type: none"> 平成 22 年 12 月 13 日～16 日 	観光課
ロシア P R 広告事業 (947 千円)	<p>ウラジオストク市内において、屋外広告媒体 (計 9 ヶ所) を活用して、本県観光地の魅力を P R することにより、ロシア (極東地方) からの観光客の誘致促進を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・掲載期間 平成 22 年 7 月～9 月 	観光課
欧米 P R 広告事業費 (1,340 千円)	<p>国内大手旅行会社が発行する欧米からの訪日観光客用パンフレットに観光 P R 広告を掲載するとともに、欧米で配布されるフリーペーパーに観光情報を掲載するなど、欧米からの観光客の誘致促進を図った。</p>	観光課
欧米豪観光客誘致促進事業 (3,200 千円)	<p>高山市、日本のふるさとを守り育てる飛越協議会 (飛騨市、白川村) と共同で、欧米豪向け W E B サイトへの情報掲載などを実施し、欧米豪地域からの観光客の誘致促進を図った。</p>	観光課

富山県オレゴン州紹介展示事業 (400 千円)	オレゴン州で開催された日本関連イベント等において、富山県を紹介するパネルやポスターを展示し、本県の観光資源について広くPRを行った。	国際・日本海政策課
----------------------------	--	-----------

(3) 個人対応の情報発信と受入体制の整備

事業名 (事業費)	実施状況	担当課
国際観光施設等 魅力アップ支援 事業(再掲) (1,221千円)	県内のホテル旅館をはじめとした観光施設が行う国内外からの観光客の受入体制を整備する事業(外国語ホームページの作成、トイレの整備など)を支援した。 ・補助件数 6件	観光課
観光地誘導案内 デザイン統一化 促進事業(再掲) (2,801千円)	観光客の誘致増大や利便性の確保を図るため、道の駅に広域観光案内標識を設置するとともに、市町村が行う観光地誘導案内標識の多言語表記化に対し支援した。 ・広域観案内標識 設置件数 1件 ・外国語観光サイン整備 補助件数 新規15件 改修1件	観光課
とやま名誉友好 大使の委嘱 (20千円)	外国人の本県在住経験者を「とやま名誉友好大使」に委嘱し、富山県を広く海外に紹介してもらうことにより、本県への関心を高め、観光客の誘致促進を図った。 ・委嘱数 31人 (全体1,232人委嘱)	国際・日本 海政策課

5 コンベンションの誘致促進

(1) コンベンション開催環境の周知と営業活動の強化

事業名 (事業費)	実施状況	担当課
コンベンション 誘致宣伝事業 (1,723 千円)	関係者を対象とした誘致説明会及び主催者を招聘しての現地説明会を開催し、富山県の優れたコンベンション開催環境の周知を図った。 ・誘致説明会 2回 平成 22 年 10 月 5 日 (富山) 平成 22 年 12 月 8 日 (東京) ・現地説明会 1回 平成 23 年 3 月 17 日～18 日 (富山)	観光課
誘致訪問活動 (913 千円)	県内及び首都圏等において、コンベンションの主催者等を訪問し、積極的な誘致活動を展開し、本県へのコンベンション開催の誘致促進を図った。	観光課
コンベンション 誘致促進事業 (3,000 千円)	コンベンションに関する情報の収集・分析やコンベンション開催会場におけるコンベンションタクシーの P R などインフォメーションコーナーの運営、県内外の主催者等への訪問活動を実施し、コンベンション開催の誘致促進を図った。	観光課
コンベンション 連絡調整会議の 開催 (89 千円)	コンベンション連絡調整会議を開催し、コンベンション施策等について関係市等と意見交換を行い、コンベンション誘致体制及びネットワークの強化を図るとともに、施策の充実を図った。 ・開催回数 6回 ・構成 県、(財)富山コンベンションビューロー、富山市、高岡市、魚津市、黒部市、砺波市、氷見市	観光課
(財)富山コンベンションビューロー補助金 (14,518 千円)	(財)富山コンベンションビューローが実施するコンベンションの誘致及びコンベンション主催者に対する支援等の活動経費に対する補助金の交付。	観光課

<p>「富山で合宿！」誘致事業 (8,088千円)</p>	<p>県外の大学、短大、高校等が県内で行うクラブ、サークル等の合宿に係る費用の一部を助成し、富山県への合宿の誘致促進を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・補助実績 30団体 	<p>地域振興課</p>
-----------------------------------	--	--------------

(2) コンベンション開催に向けた支援の充実

事業名 (事業費)	実施状況	担当課
学会等開催補助 金 (13,900 千円)	学会等の開催に係る費用の一部を助成し、富山県への学会等の開催の誘致促進を図った。 ・補助件数 20 件	観光課
人材育成研修会 の開催 (378 千円)	コンベンション誘致に係る関係者を対象とした研修会を開催し、コンベンション誘致のための人材育成と資質向上を図った。 ・平成 22 年 8 月 2 日～3 日（富山国際会議場）	観光課
コンベンション 誘致・運営サポ ート事業 (7,297 千円)	コンベンション誘致活動を行うとともに、コンベンション開催に向けて主催者への業務支援を図った。	観光課
富山国際会議場 運営費補助金 (128,940 千円)	中心市街地の活性化及び環日本海交流の拠点施設であり、本県の代表的なコンベンション施設である富山国際会議場の運営等への補助。	観光課

(3) アフターコンベンション等の充実

事業名 (事業費)	実施状況	担当課
コンベンション 歓迎気運醸成事業 (3,874 千円)	コンベンション開催を告知するポスター等を市街地や商店街で掲示し、地域住民等に開催誘致について理解を深めてもらうなど、コンベンションの歓迎気運の醸成を図った。	観光課
コンベンション タクシー助成事業 (522 千円)	<p>県外からのコンベンション参加者が県内を観光する際のタクシー料金の一部を助成することにより、アフターコンベンションを支援するとともに、口コミによる本県のPRを図った。</p> <p>あわせて、タクシードライバーを対象とした「観光ガイドドライバー養成講座」を開催し、利用者に適切な観光案内を行うおもてなし力の向上を図った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 補助件数 136 件 ・ 観光ガイドドライバー養成講座の開催 <ul style="list-style-type: none"> 平成 22 年 8 月 10 日 参加者 30 人 平成 22 年 8 月 12 日 参加者 23 人 	観光課